平成２４年度第５号（通算１３０号）

北海道奥尻高等学校

奥高だより

平成２４年１２月２５日（火）

TEL：01397-2-2354
FAX：01397-2-2354
URL: http://www.okushiri.hokkaido-c.ed.jp
E-mail: okushiri-z0@hokkaido-c.ed.jp

本物探し

校長　石戸谷　亮

今年度の校長のこだわりは「本物」です。平成24年の締め括りは高校生の本分である学問、「本物の学問」についての一考。

「学問」とは言い換えると勉強すること、一定の理論に基づいて体系化された知識や方法を学ぶことで、正に今、皆さんが高校生活の中で取り組んでいる全ての行為を意味します。これに「本物」が付くとどうなるのか。私なりの解釈の論拠を二つ紹介します。

その１

『学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）。』

これは今から2000年以上も前に残された「論語」の中の言葉です。

「物事は学ぶだけはいけない。学んだことを自分でしっかりと考え理解しなければ本当の知識は身につかない。また自分一人で勝手に考えることもいけない。師（先生）や古来の書物（昔から勉強されてきている普遍の真理）から学ばなければ、独りよがりの独断的・独善的知識になってしまい大変危険である。」

その２

『学問に王道なし』

こちらも、論語と同時代の西洋の言葉です。

「誰であっても、知識を得るためには、基礎から一つずつ学び、積み重ねて努力しなければならない。」

今から2000年以上前の東洋・西洋で、すでに「学問」についての「本物探し」は始まっていたようで、その解答は①学問をする上での心構えで大切なのは、考えることと謙虚な向学心②学問への取組方法で大切なのは、地道な努力と蓄積　というように、今日でもよく言われ、よく聞かれることであることから、この解答の実行こそが「本物の学問」に対する不変の解答であると結論づけてよいのでしょう。

当然、それは個々人が、自分に相応しい人生の目標に挑戦するための、プログラム化された崇高で緻密な精神的・肉体的活動の集積でなければ「本物」は付加されず、単なる羅列される知識や、目先の自己満足・自己ひいきの為に行われるものを指しているわけではありません。だからこそ不変の解答であり、時代を超えて、長年月にわたり追究されてきたのだと思います。

「学問」自体も難しく、これに「本物」がつくと更に難解になり、私自身も理解と実行の一致は未だにできていませんが、避けて通ることができないことも事実です。ならば、少しでも「本物の学問」を意識できる人でいたいと思いますし、前向きに追究する姿勢を持っていたいと考えています。

皆さんも、自分に相応しい人生の目標を探し、目指しながら、「本物の学問」を追究し、自己の才能に果敢に挑戦してほしいと思います。

～奥尻高校行事報告～

●介護体験学習

１１月１４日（水）に１年生２０名が特別養護老人ホームおくしり荘で介護体験学習を行いました。午前中は施設長さんの介護についての講話や、特別養護老人ホームと高齢者生活福祉センター、デイ・サービスセンターの３つのグループに分かれて高齢者の方と触れ合いました。また、午後からは高齢者の方が立つときの介助の方法や立つ際の体のしくみを学んだり、文化祭のお手伝いや歌を披露し、とても充実した体験学習を行うことができました。

●ネット講演会

１１月１６日（金）にNTT東日本函館支店より村井和夫様、佐藤将一様を招聘し、e-ネット安心講座を行いました。「情報発信の際には法律とマナーを守る」「ネット上の個人の行動は特定される」など、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使ってインターネットを利用する際の注意点や、安全に活用するための方法について学びました。生徒には、インターネットとの関わり方を再度見直す機会とし、今後の生活に役立ててほしいと思います。

●保護者進路説明会

１１月２１日（水）に１・２学年の保護者を対象とした保護者進路懇談会が行われました。
進路活動で保護者が普段疑問に思っていることを解消してもらうほか、担任をはじめ、進路指導担当教諭、保護者が情報を共有し、生徒１人ひとりの進路実現に向けての動き出すことを目的として行われました。当日は進路指導部より進学・就職の進捗状況の報告の後、各学年に分かれて懇談を行いました。

●授業公開期間

12月11日、12日、二日間にわたり、今年度２回目の授業公開が行われました。地域との連携と相互理解、本校教員の資質向上のため毎年行っているものですが、今回は町内教職関係者６名の来校を賜り貴重なご教授を頂き、この場をお借りしてあらためてお礼申し上げます。12日の放課後は校内研修会を開き、授業の合評会を行いました。約１時間に及ぶ活発な意見交換により授業力向上に向けて熱心な話し合いとなりました。協力してくれた生徒にも感謝します。今後とも引き続き本校教育活動のためにご協力をお願いいたします。

●議会見学

１２月１１日(火)に奥尻町議会にて３年生の議会見学を実施しました。約２時間ほどの見学でしたが、町政について真剣に議論する議員の方々を見て、一人の公民としての意識を高められたのではないかと思います。見学させて頂いた奥尻町議会関係者の方々、ありがとうございました。

●性に関する講話　・赤ちゃんふれあい体験

３年生を対象とした性に関する講話が行われました．１２月１３日（木）３・４校時に３年生対象の性に関する講話を行い、奥尻町保健福祉センター保健師　佐々木美智子様から妊娠・出産までの過程や育児の楽しさと大変さをお聞きし、命に対する責任の重さについて改めて考えるきっかけとなりました。講話の後半には奥尻町の母子４組に来校していただき、赤ちゃんふれあい体験を行いました。

●球技大会

１２月１４日（金）に、球技大会が行われました。バドミントン、ミニバレー、バレーボール、バスケットボールの４競技が行われ、体育館は仲間を応援する声援が響き渡り、大いに盛り上がりました。結果は、３年生が他学年を圧倒して総合優勝を果たしました。生徒は終始笑顔でしたが、その中にも真剣さが見え、なんとしても勝とうと汗する姿に、命の輝きを見ました。

●クリスマスケーキ作り

１２月１７日（月）～２１日（金）に、全学年でクリスマスケーキ作りを行いました。はじめてスポンジから作る生徒も多く、膨らむかドキドキしながら焼き具合を見守っていました。スポンジが膨らんだ後は、それぞれデコレーションを楽しみました。生徒達は初めてケーキ作りをした者も多く、これを機に家族をはじめ弟や妹たちにも作ってあげることを期待しています。また、生徒玄関にはクリスマスツリーが置かれ、一足早いクリスマスを味わうことが出来ました。